

生活習慣・食生活アンケート調査の結果をお知らせします

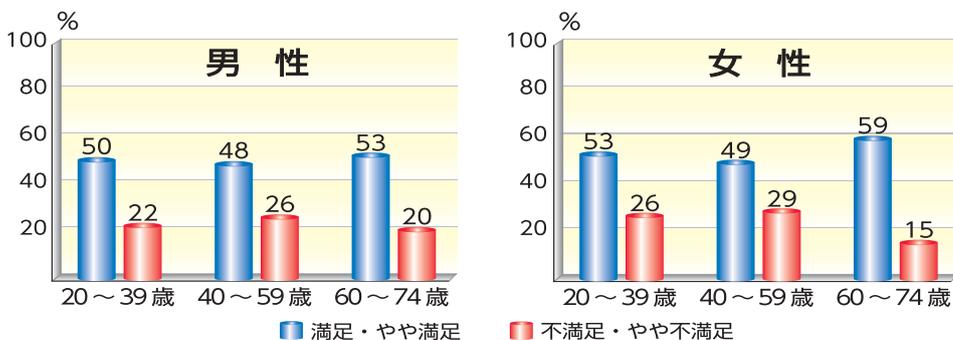
町では、平成25年に策定した「益城町第2期健康づくり推進計画」および「食育推進計画」を効果的に実行するための基礎資料を得るため、昨年、町民の生活習慣、食生活に関するアンケート調査を実施しました。

集計した結果を今月から数回に分けてお知らせします。

対象者 20～74歳までの住民(無作為抽出) 発送数 2,488人 回答者数 991人
有効回答数 987人(男性 435人、女性 552人) 回答率 39.8%
若年層:20～39歳 壮年層:40～59歳 高年層:60～74歳

保健福祉センターはびねす
☎ 234-6123

Q1 現在の生活に満足していますか？



結果

生活満足度については、特に検討する必要があるのは壮年層男性・女性であることがわかりました。

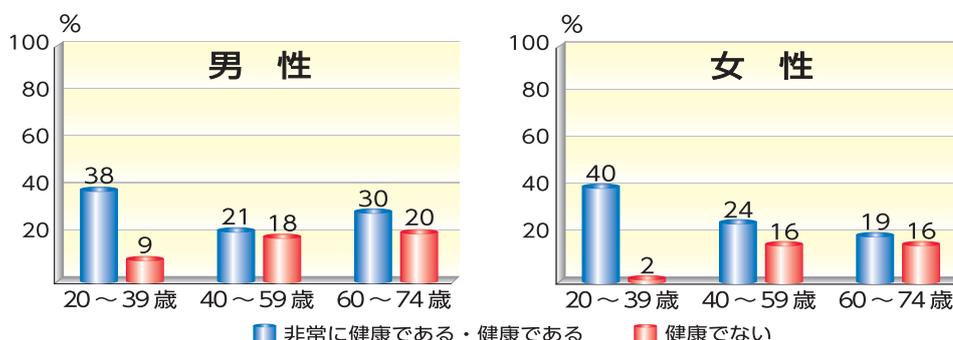
コメント

現在の生活に満足している人は、男性50%、女性53%で女性がやや高めでした。

現在の生活に満足していない人の割合は、壮年層女性が最も多く、次いで若年層女性でした。

現在の生活に満足している人は、高年層が56%と最も高く、壮年層は若年層、高年層に比べて低い傾向が見られました。

Q2 現在の健康状態はいかがですか？



結果

主観的健康度を検討する必要があるのは、高年層女性と壮年層男性・女性であることがわかりました。

コメント

現在の自分の健康状態を良好とする人は、男性28%、女性26%で男性がやや高めでしたが、健康でないとする人もやや男性が高めでした。

年齢層別、男女別にみると、現在の健康状態を良好とする人は、若年層と壮年層においては女性が男性に比べてやや高い傾向ですが、高年層では男性(30%)が明らかに女性(19%)に比べて高めでした。



主観的健康観とは

医学的検査所見に基づく専門家による診断でなく、現在の自分の健康状態を自分の生活に即して自分で評価すること。

